

テーマ：県立の単位制高校に学習管理システムを導入して、生徒の学習環境と教員の業務効率を向上させたい！

実証事業者：株式会社デジタル・ナレッジ

実証概要

設定した解決したい課題

多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい高校として通信制高校の需要が高まっている。
通信制では、全日制や定時制とは異なり、郵送でのレポート課題やスクーリング（面接指導）があることから、膨大な書類の郵送作業や独自の出席管理等を行っており、教員の負担が大きい状況にある。
生徒も自身の学習状況が把握しづらい。

解決の方向性（実証事業者との協議結果）

通信制高校1校に学習管理システム（ラーニング・マネジメント・システム）を試験導入し、その効果を検証する。①オンラインでレポート課題の提出・返却②生徒の出席管理を電子化③スマートフォン等で生徒が学習状況を把握できる。

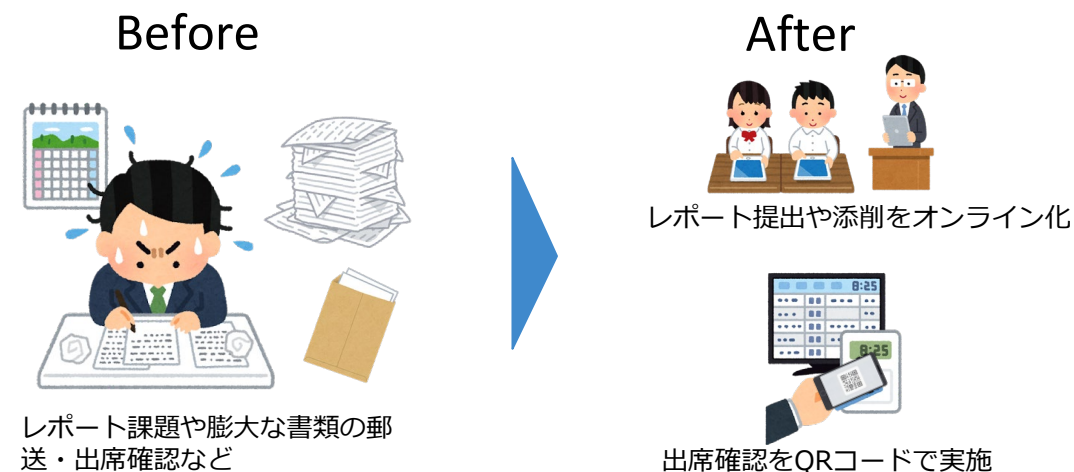
<検証項目・KPI>

- ・レポート提出・添削の効率化（前向きな回答：70%以上）
- ・出欠確認の効率化（前向きな回答：70%以上）
- ・システム継続利用意向（前向きな回答：70%以上）

試行運用の概要

<方法> 試行運用では1科目のレポート提出・添削と出席確認を行う。システム利用者（生徒・先生）へのアンケートにより評価する。

<期間> 2024年11月1日～11月30日



工夫したポイント

- ✓ 生徒からレポートが提出されると教員へメール通知される機能を設け、教員が気付きやすい仕組みにした。
- ✓ 手書きに対応していないデバイスでも添削しやすいように、添削用のスタンプ機能を設定した。

実証実験の評価及びKPIの結果

- ✓ 今後の導入を検討するに当たって前向きな意見は80%を超えた。
- ✓ 業務の効率化において有効と考えられるが、導入に向けては校務支援システムとの連携等の検討が必要である。

＜KPIに関連する結果＞

- ・ レポート添削・結果に関する項目において、前向きな回答は80%
- ・ QRコードリーダーによる出席登録に関する項目において、前向きな回答は79%
- ・ システム継続利用について、前向きな回答は85%

導入に向けての課題と解決策

- ✓ 生徒がシステムを利用する際に、簡易にログインできるLINEなどのシステムと連携して、自動ログインの検討が必要である。
- ✓ 校務支援システムとの連携の仕組み構築や、QRコードや専用リーダーを必要としないパソコンや携帯可能なデバイスで読み取りできる仕組み導入を検討する。
- ✓ 提出した課題の補正や既存データの編集のしやすさ向上のため、添削の自動化やUI/UXを拡張する。

レポート添削画面



出席状況把握画面のイメージ

